

市民交流プラザ事業部



photo: Keigo Sadahisa (doppietta)

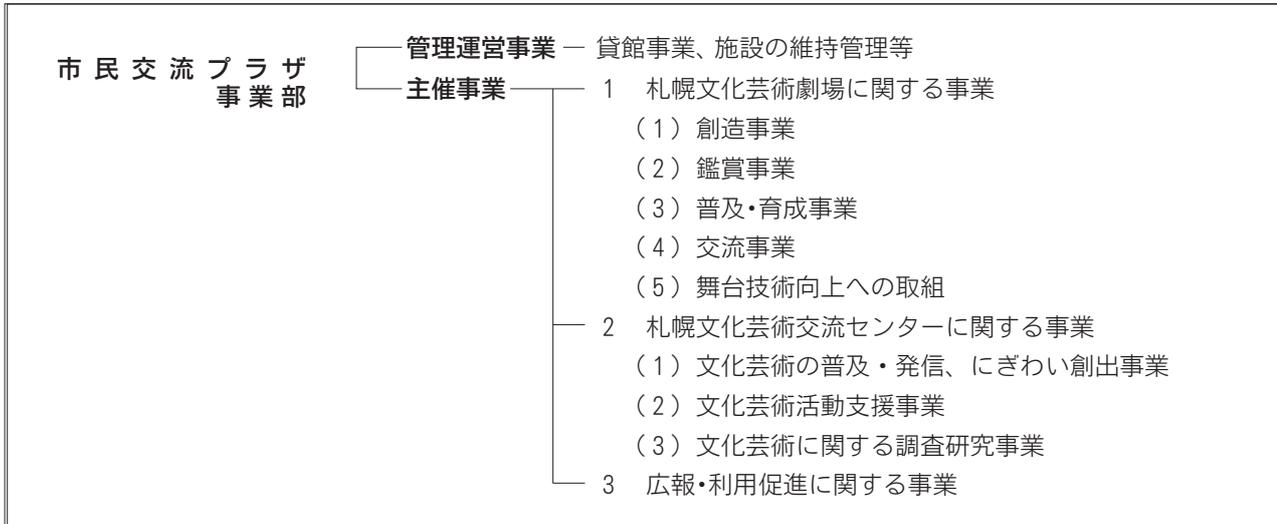
Creative Opera Mix Vol.3 MASTER PIECES
令和4年1月23日(日)

市民交流プラザ事業部

事業体系

定款第4条第1～2号に掲げる事業は、次により行った。

事業体系



管理運営事業

○札幌市民交流プラザ利用状況

			令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
札幌文化芸術劇場	劇場	利用率	72.6%	58.4%	79.9%
		利用料金収入	168,185,042円	57,151,830円	160,237,470円
	クリエイティブスタジオ	利用率	82.4%	53.5%	71.2%
		利用料金収入	20,323,723円	9,232,020円	17,740,240円
練習室等	利用率	63.1%	51.8%	59.7%	
	利用料金収入	7,795,350円	5,602,250円	7,801,350円	
札幌文化芸術交流センター (SCARTSコート、SCARTSスタジオ、SCARTSモール等)		利用率	80.9%	65.4%	63.3%
		利用料金収入	11,570,980円	6,822,530円	7,810,550円
利用料金収入合計			207,875,095円	78,808,630円	193,589,610円
総入場者数			738,190人	148,656人	285,686人
総来館者数（札幌市図書・情報館含む）			1,693,326人	630,647人	752,003人

※札幌市による新型コロナウイルス感染症対策の一環により、令和2年4月14日～5月31日は全館貸出休止、令和3年5月9日～7月11日、8月2日～9月30日は新規予約受付停止。

※利用料金収入には、利用取消手数料収入を含まない。

【参考】

令和元年度全国公立文化施設平均稼働率

大ホール（1,000席以上）：56.5% 小ホール（500席未満）：57.3%

（出典 公益社団法人全国公立文化施設協会「令和2年度 公立文化施設の運営情報調査報告書」）

主 催 事 業

札幌文化芸術劇場に関する事業

1 創造事業

道内初の多面舞台を備えたホールの機能を活用し、国内の劇場や地元芸術団体との共同制作など「創造の場」として、札幌発のオペラやバレエ等の舞台芸術を展開し、市民が質の高い文化芸術に触れる機会を提供した。

①hitaruバレエプロジェクト

プレ公演「白鳥の湖」

新規

地元の人材を結集し、バレエ作品を創造・発信するhitaruバレエプロジェクトのプレ公演を実施した。世界中で愛されるクラシックバレエの名作「白鳥の湖」を、新たな見所が多く加えられた篠原聖一演出版により北海道ゆかりのキャストで上演した。



撮影：フォトワークス西岡克浩 提供：公益社団法人日本バレエ協会北海道支部

期 日：令和4年2月26日（土）開演17:30
27日（日）開演14:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）、公益社団法人日本バレエ協会

後 援：札幌市、札幌市教育委員会、北海道、北海道教育委員会、北海道新聞社

助 成：令和3年度芸術文化振興基金

演出振付：篠原聖一

出 演：磯部省吾（指揮）

茂田絵美子／川島麻実子（オデット）

飯野萌子／川島麻実子（オディール）

林田翔平／秋元康臣（ジークフリード）

輪島拓也（ロットバルト）

高橋真之（道化）

太田麻美、成田梨花、横山翼、阿部衣梨子、

郷翠、鷺尾佳凜（パ・ド・トロワ）

カンマーフィルハーモニー札幌（管弦楽）

入場料：全席指定 S席 8,000円、A席 7,000円、
B席 5,000円、C席 4,000円、D席 2,000円

入場者数：2月26日 1,723人

2月27日 1,857人

<関連事業>

hitaruバレエプロジェクト

プレ公演「白鳥の湖」

出演者募集 オーディション

新規

令和4年2月26日（土）、27日（日）開催、hitaruバレエプロジェクト プレ公演「白鳥の湖」の出演者オーディションを、北海道在住もしくは北海道にゆかりのある中学1年生以上の方を対象に実施した。

期 日：令和3年8月31日（火）

第1部（対象：中学1年～高校1年）

開始18:15

第2部（対象：高校2年以上）

開始19:30

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）、公益社団法人日本バレエ協会

協 力：札幌舞踊会、We Love Ballet実行委員会、
ドリーム オブ ダンサーズ

キャスト：王妃、ヴォルフガング、パ・ド・トロワ、女官、ワルツ（ソリスト）、ワルツ（アンサンブル）、小さな白鳥、大きな白鳥、白鳥たち、式典長、花嫁候補、スペイン、チャルダッシュ（ソリスト）、チャルダッシュ（アンサンブル）、ナポリ（ソリスト）、ナポリ（アンサンブル）、マズルカ

審査員：篠原聖一（演出振付）、斎藤義晶（札幌市民交流プラザ館長）、真下教子（日本バレエ協会北海道支部支部長）、智田敏子（同副支部長）、小泉のり子（同副支部長）、千田雅子（札幌舞踊会代表）、榎谷博子（We Love Ballet実行委員会芸術監督）

参加料：無料

応募者数：110人

参加者数：104人

市民交流プラザ事業部

主催事業

<配信事業>【有料アーカイブ配信】

hitaruバレエプロジェクト

プレ公演「白鳥の湖」

令和4年2月26日（土）開催の hitaru バレエプロジェクト プレ公演「白鳥の湖」を「HTB on ライン劇場」にて有料配信した。



配信日時：令和4年3月5日（土）～21日（月・祝）

主催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）、公益社団法人日本バレエ協会

映像制作：北海道テレビ放送株式会社

視聴料金：2,000円

視聴人数：427人

②Creative Opera Mix Vol.3 MASTER PIECES

令和元年度より実施してきたセルフプロデュース事業の集大成公演として、2,302席の hitaru に会場を移し開催した。札幌市の第一線で活躍する多様なジャンルの芸術家を集め、総勢71名の出演者と hitaru の舞台技術を結集した壮大なステージを実現し、多くの観客にお楽しみいただいた。



撮影：Keigo Sadahisa (doppietta)

期 日：令和4年1月23日（日）開演15:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）独立行政法人日本芸術文化振興会

一般財団法人地域創造

出 演：福由樹子（編曲・ピアノ）

DJ TAMA a.k.a. SPC FINEST（編曲・DJ）

川島沙耶（ソプラノ）

下司貴大（バリトン）

SHOKO、鈴木明倫（振付・ダンス）

JAZADOCUMENT（ラップ）

折原寿一（ギター）

斎藤正樹（コントラバス）

蛇池雅人（サクソ・フルート）

鷹橋伸司（ギター）

瀧本志保（ヴァイオリン）

細川直来（ドラム）

森田貴裕（エレキベース）

ダンス：Dance Studio mind（舞人）

SHOKO、神田広典、村上圭、仙庭弘晶、工藤香織、満藤弘、MASA、MIKU、坪田みなみ、YUKA、TAIGA、AKO、TAKAYA、尾村琉希哉、酒井幹斗、佐々木空翔、原田楓冬、田中悠輝、赤坂柚和、阿部あみ、阿部あや、有賀結香、池田璃菜、伊藤未来、緒方凜、小川真智子、奥村優芽、川池菜々花、櫻井みづき、佐藤千咲、塩田茉央、壽福鈴、竹内舞、徳光真音、土橋結愛、飛島ゆう、林聖命、藤田楓、水野天音、弥勒院桃香、彌左海優、山田愛実

Fe. dance studio

WAKU、SYUNA、遠藤理温、三浦彩、RYOMI、西野留以、高橋なな美、澤田桃花、齊藤凜

DANCE STUDIO LoRe

鈴木明倫、坂本菜々子、菅野朱音、原田美緒菜、池田悠乃、田中心優、中坪明日美、眞鍋和那

曲 目：オープニングアクト

ワーグナー『ローエングリン』より「婚礼の合唱」

レハール『メリー・ウィドウ』より「唇は語らずとも」
 ビゼー『カルメン』より「シストルムの甲高い響きと（ジプシーの歌）」
 レオンカヴァッロ『道化師』より「衣装をつけろ」
 プッチーニ『蝶々夫人』より「ある晴れた日に」
 オッフェンバック『天国と地獄』より 序曲
 モーツァルト『魔笛』より「復讐の心は地獄のようにわが胸に燃え」
 ガーシュウィン『ポーギーとベス』より「サマータイム」
 ロッシーニ『ウィリアム・テル』より 序曲
 プッチーニ『トゥーランドット』より「誰も寝てはならぬ」
 ロッシーニ『セビリアの理髪師』より「わたしは町の何でも屋」
 ワグナー『ワルキューレ』より「ワルキューレの騎行」
 プッチーニ『トスカ』より「歌に生き、恋に生き」
 モーツァルト『フィガロの結婚』より 序曲
 メドレー

入場料：全席指定 一般 前売 2,500円、当日 3,000円
 U25 前売 1,000円、当日 1,500円

入場者数：1,025人

<配信事業> 【有料アーカイブ配信】

**Creative Opera Mix Vol.3
 MASTER PIECES**

令和4年1月23日(日)に札幌文化芸術劇場 hitaruにて開催された「Creative Opera Mix Vol.3 MASTER PIECES」を収録・編集した映像のほか、出演者インタビュー、特別アレンジのPV、メイキング映像も合わせて収録した映像を「HTB on ライン劇場」、「PIA LIVE STREAM」にて有料配信した。

配信日時：令和4年2月18日(金)～3月21日(月・祝)

主催：札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化財団)

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会
 一般財団法人地域創造



視聴料金：1,000円

視聴人数：108人

③hitaru オペラプロジェクト

「フィガロの結婚」キャストオーディション

新規

令和5年2月26日(日)、28日(火)に開催するhitaru オペラプロジェクト「フィガロの結婚」のキャストオーディションを北海道にゆかりのある方を対象に実施した。

期 日：令和4年3月5日(土)、6日(日)

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化財団)

募集キャスト：アルマヴィーヴァ伯爵、伯爵夫人、スザンナ、フィガロ、ケルビーノ、マルチェッリーナ、バルトロ、バジーリオ、ドン・クルツィオ、バルバリーナ、アントーニオ、花娘
 審査員：奥村哲也(指揮者)、三浦安浩(演出家)、高橋秀典(札幌文化芸術劇場 hitaru チーフプロデューサー)

参加料：無料

応募者数：74人

市民交流プラザ事業部

主催事業

2 鑑賞事業

劇場の多面舞台と最新の舞台機能を活かし、国内外トップクラスのオペラ、バレエなど本格的舞台芸術による「鑑賞の場」を多彩な内容で広く市民に提供した。

①PLAZA FESTIVAL 2021

Daiwa House® PRESENTS

熊川哲也 Kバレエ カンパニー

Autumn Tour 2021「シンデレラ」 **新規**

札幌市民交流プラザ開館3周年記念事業として、芸術監督・熊川哲也が率いるKバレエカンパニーによる、グランドバレエ公演「シンデレラ」を上演した。



撮影：Hidemi Seto

期 日：令和3年10月2日（土）、3日（日）
開演各日13:00
会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru
主 催：札幌市、札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）、北海道新聞社
後 援：札幌市教育委員会
助 成：令和3年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業
制 作：K-BALLET/TBS
制作協力：道新文化事業社、キョードー札幌
特別協賛：大和ハウス工業株式会社
協 賛：株式会社 SL Creations
演出・振付：熊川哲也（芸術監督）
出 演：井田勝大（指揮）
日高世菜／成田紗弥（シンデレラ）
高橋裕哉／栗山廉（王子）
戸田梨紗子／日高世菜（仙女）
高橋怜衣／辻久美子／戸田梨紗子／辻梨花（シンデレラの義姉）
ルーク・ヘイドン（継母）
Kバレエカンパニー
シアターオーケストラ トーキョー（管弦楽）
入場料：全席指定 SS席 15,000円、S席 13,000円、

A席 10,000円、B席 8,000円、C席 6,000円、
D席 5,000円、

U25席 各席2,000円引き（SS席を除く）

入場者数：10月2日 1,792人

10月3日 1,874人

<関連事業>

熊川哲也 Kバレエ カンパニー

Autumn Tour 2021「シンデレラ」

クラスレッスン見学会 **新規**

Kバレエカンパニー「シンデレラ」関連イベント。札幌市民交流プラザメンバーズ会員を対象に、本番直前の舞台上で行われるKバレエカンパニーによるクラスレッスンの見学会を開催した。

期 日：令和3年10月2日（土）開始9:30

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌市、札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）、北海道新聞社

出 演：Kバレエカンパニー

入場料：全席指定 500円

入場者数：191人

②Noism Company Niigata

ストラヴィンスキー没後50年「春の祭典」 **新規**

りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館を拠点に活動する、日本初の公共劇場専属舞踏団Noism Company Niigataを迎え、没後50年となるストラヴィンスキー「春の祭典」標題作を含む4作品を上演した。コロナ禍における舞台芸術を見据えた内容に多くの好評をいただいた。



撮影：kenzo kosuge

期 日：令和3年7月31日（土）開演18:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会
 助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）独立行政法人日本芸術文化振興会、公益財団法人北海道文化財団
 製 作：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館
 演出振付：金森穰
 出 演：Noism0、Noism1、Noism2
 演 目：「夏の名残のバラ」（芸術選奨文部科学大臣賞、日本ダンスフォーラム賞 大賞受賞）
 映像舞踊「BOLERO 2020」
 「Fratres III」
 「春の祭典」
 入場料：全席指定 一般 4,500円、U25 2,000円
 入場者数：344人

③hitaruのひととき

市内中心部の地下鉄駅直結という劇場の優れた立地条件を活用し、料金設定をおさえ、親しみやすい選曲により、気軽に実演芸術に触れてもらう機会を提供した。

（1）Mi Tierra Andalucía

～私の地 アンダルシア～

新規

フラメンコの本場スペインのコンクールで、日本人男性初の優勝を果たしたダンサー SIROCO（シロコ）の北海道初公演を実施。日本フラメンコ界のトップアーティストたちとともに、フラメンコ発祥の地スペイン・アンダルシアの情緒を豊かに、激しく力強い渾身のステップで観客を魅了した。



撮影：kenzo kosuge

期 日：令和3年6月11日（金）開演19:00
 会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru
 主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）
 後 援：札幌市、札幌市教育委員会
 助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂

等機能強化推進事業）独立行政法人日本芸術文化振興会

出 演：SIROCO（メインバイレ）
 パコ・プラテアオ、今枝友加、水落麻理（カンテ）
 徳永健太郎（ギター）
 森川拓哉（ヴァイオリン・ピアノ）
 高木亮太（パーカッション）
 奥野裕貴子、影山奈緒子、松彩果、平山奈穂、大塚歩（バイレ）
 演 目：El Padre～フラメンコの父～
 Sonanta～響き～
 Ida y Vuelta～スペインからキューバ～
 La Zambra～ラ・サンブラ（アラブ風の）～
 De tacón a tacón～足音～
 La Madre～フラメンコの母～
 Cante hondo～フラメンコの深い歌～
 Mi Tierra～私の地～
 入場料：全席指定 一般 3,000円、U25 1,500円
 入場者数：563人

<配信事業>【有料アーカイブ配信】

Mi Tierra Andalucía

～私の地 アンダルシア～

令和3年6月11日（金）に札幌文化芸術劇場 hitaruにて公演された、hitaruのひととき Mi Tierra Andalucía～私の地 アンダルシア～を3台のカメラで収録した臨場感あふれる映像を有料配信した。

配信日時：令和3年6月18日（金）～7月2日（金）

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

映像制作：コンフォート企画株式会社

視聴料金：1,500円

視聴人数：455人

市民交流プラザ事業部

主催事業

(2) ANÚNA 神秘のケルティック・コーラス

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

期 日：令和3年11月25日（木）

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）独立行政法人日本芸術文化振興会

出 演：ANÚNA（合唱）

入場料：全席指定 一般 3,000円、U25 1,500円

入場者数：－

(3) VR能 攻殻機動隊

新規

日本を代表するSF漫画・アニメ作品「攻殻機動隊」を題材に、能とVR技術の融合が生み出す公演「VR能 攻殻機動隊」を開催した。本作の演出は、平成30年にクリエイティブスタジオで実施し好評を博した「スペクタクル3D能」を手掛けた奥秀太郎が行い、観世流能楽師の坂口貴信他が出演。仮想現実空間を、VRメガネをかけずに体感できる世界初の技術により、「伝統を超えた电脑の世界」と評される新感覚の舞台公演をお届けした。



撮影：kenzo kosuge

期 日：令和4年1月15日（土）

午前の部 開演11:00

午後の部 開演16:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

協 力：一般財団法人観世文庫

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）独立行政法人日本芸術

文化振興会

演 出：奥秀太郎

出 演：坂口貴信、谷本健吾、観世三郎太、川口晃平（観世流能楽師）

脚 本：藤咲淳一

映像技術：福地健太郎（明治大学教授）

VR技術：稲見昌彦（東京大学教授）

製 作：VR能 攻殻機動隊製作委員会

原 作：士郎正宗『攻殻機動隊』（講談社 KC デラックスクス刊）

入場料：全席指定 S席 3,000円、A席 2,000円

U25（各席）1,500円

入場者数：午前の部 412人 午後の部 471人

④文化庁 大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業

2021グランドオペラフェスティバル

in Japan モーツァルト「魔笛」

新規

平成25年にオーストリア・リンツ州立劇場で初演されて以来累計5万人を動員した宮本亞門演出によるオペラ モーツァルト「魔笛」を上演した。主人公がゲームの世界に迷い込むという斬新な設定、プロジェクション・マッピングを駆使した最新の演出など話題性の高い内容により、多くの好評を得た。



撮影：kenzo kosuge

期 日：令和3年11月6日（土）開演14:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

主 催：オペラキャラバン・ジャパン実行委員会
公益財団法人東京二期会

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化庁 大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業

演 出：宮本亞門

出演：川瀬賢太郎（指揮）
 大塚博章（ザラストロ）
 市川浩平（タミーノ）
 久保和範（弁者）
 杉浦隆大（僧侶Ⅰ）
 栗原剛（僧侶Ⅱ）
 安井陽子（夜の女王）
 盛田麻央（パミーナ）
 北原瑠美（侍女Ⅰ）
 宮澤彩子（侍女Ⅱ）
 石井藍（侍女Ⅲ）
 横森由衣（童子Ⅰ）
 金治久美子（童子Ⅱ）
 長田惟子（童子Ⅲ）
 守谷由香（パパゲーナ）
 萩原潤（パパゲーノ）
 高橋淳（モノスタトス）
 新海康仁（武士Ⅰ）
 河野鉄平（武士Ⅱ）
 二期会合唱団（合唱）
 札幌交響楽団（管弦楽）

入場料：全席指定 S席 10,000円、A席 8,000円、
 B席 6,000円、C席 4,000円、D席 2,000円
 U25 C席2,000円、D席1,000円

入場者数：1,566人

⑤共催事業の誘致

（1）ミュージカル「モーツァルト！」 **新規**

平成14年の日本初演以来、日本のミュージカルファンを魅了し続けている大型ミュージカル。ヴォルフガング・モーツァルト役に人気ミュージカルスター山崎育三郎・古川雄大（Wキャスト）を迎え、全4日間、計5公演上演。

期 日：令和3年5月14日（金）～17日（月）
 5月14日（金）①開演17:45
 15日（土）②開演12:30
 ③開演17:45
 16日（日）④開演12:30
 17日（月）⑤開演12:30

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：株式会社北海道新聞社、UHB北海道文化放送株式会社、道新スポーツ、株式会社エフエム北海道、株式会社道新文化事業社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

入場料：全席指定 S席 14,500円、A席 11,000円、
 B席 6,000円

入場者数：①1,604人 ②1,402人 ③1,415人 ④1,355人
 ⑤1,439人

（2）第二回さっぽろ落語まつり

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年
 5月29日（金）～31日（日）から延期。

落語家・三遊亭円楽がプロデュースし、福岡・博多で大成功を収めている落語まつりの札幌版。総勢29名の落語家が出演し、札幌文化芸術劇場 hitaru、道新ホール、共済ホールの3会場で3日間、計15公演開催。

期 日：令和3年5月28日（金）～30日（日）

5月28日（金）①開演13:00

②開演17:30

29日（土）③開演12:00

④開演16:00

30日（日）⑤開演11:00

⑥開演15:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru、道新ホール、
 共済ホール

主 催：株式会社テレビ北海道、株式会社北海道新聞社、道新スポーツ、株式会社道新文化事業社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

特別協賛：生活協同組合コープさっぽろ共済推進室

協 力：オフィスまめかな

入場料：全席指定 前売 4,600円、当日 5,000円

入場者数：①574人 ②357人 ③491人 ④464人 ⑤533人
 ⑥521人

（3）秋の特別公演 古典への誘い **新規**

歌舞伎を含めた日本の様々な伝統芸能に触れてほしいと、現代歌舞伎界を牽引する十一代目市川海老蔵自らが企画した全国巡業公演。「伽羅先代萩」を成田屋独自の伊達騒動物として構築した「三升先代萩」の演目で、主要な登場人物のうち善人悪人を織り交ぜた七役を市川海老蔵が早替わりで勤める。全2日間、計2公演上演。

期 日：令和3年9月4日（土）、5日（日）

開演各日13:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：株式会社北海道新聞社、道新スポーツ、株式会社エフエム北海道、株式会社道新文化事業社

市民交流プラザ事業部

主催事業

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

入場料：全席指定 一等席 12,000円、二等席 10,000円

入場者数：9月4日 1,232人

9月5日 1,030人

（４）ミュージカル「マイ・フェア・レディ」

新規

ミュージカル史に燦然と輝く不朽の名作。全4日間、計5公演上演。ただし、12月19日（日）・20日（月）の2日間2公演は、出演者急逝のため中止。

期 日：令和3年12月17日（金）～20日（月）

12月17日（金）①開演17:00

18日（土）②開演12:00

③開演17:00

19日（日）④開演12:00〈中止〉

20日（月）⑤開演12:00〈中止〉

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：株式会社北海道新聞社、UHB北海道文化放送株式会社、道新スポーツ、株式会社エフエム北海道、株式会社道新文化事業社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

入場料：全席指定 S席 14,500円、A席 11,000円、B席 6,000円

入場者数：①885人 ②1,828人 ③1,262人 ④－ ⑤－

（５）劇団四季のアンドリュー・ロイド＝ウェバー コンサート～アンマスクド～

新規

『エビータ』『キャッツ』『オペラ座の怪人』など数々の傑作ミュージカルを生み出す作曲家アンドリュー・ロイド＝ウェバーの楽曲を、歌と生バンドの演奏で魅了する劇団四季初の試みとなるコンサート。全2日間、計3公演上演。

期 日：令和4年2月1日（火）、2日（水）

2月1日（火）①開演18:30

2日（水）②開演13:00

③開演17:00

※③のみ、終演後に出演俳優によるアフタートーク実施

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：株式会社北海道新聞社、四季株式会社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

協 賛：第一三共株式会社

後 援：北海道、札幌市、北海道教育委員会、札幌市教育委員会

協 力：北海道旅客鉄道株式会社

入場料：全席指定 S席 11,000円、A席 8,800円、サイドA席8,800円、B席 6,600円

入場者数：①1,324人 ②1,213人 ③1,056人

3 普及・育成事業

先進の舞台芸術を広く市民に紹介するとともに、舞台芸術活動の将来を担う世代の育成を目的に、多彩な芸術文化作品の提供と、魅力的で芸術性の高い参加型事業を展開した。

①<配信事業>青少年向けバレエ鑑賞事業

芸術を通して豊かな感性を育む機会の提供を目的とし、札幌市内の中学2年生を対象に青少年向けバレエ鑑賞事業を開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、hitaruで過去に開催した本番の映像と作品内容の解説や施設紹介等を含む映像教材をYouTubeにて配信。応募のあった市内中学校にて映像を鑑賞いただき、総合芸術としてのバレエを楽しむ機会を創出した。



配信日時：令和3年10月1日（金）～10月29日（金）

会場：各中学校

主催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後援：札幌市、札幌市教育委員会

特別協賛：株式会社ニトリ

出演：東京バレエ団

配信作品：「白鳥の湖」プロローグ付き第2幕
「ボレロ」

参加料：無料

参加学校数：7校

視聴人数：591人

②クリエイティブスタジオ活用事業

市内文化芸術団体等との連携により、音楽・舞踊・演劇・伝統芸能など多様なジャンルの実演芸術の創造と鑑賞の機会を市民へ提供し、文化芸術活動の活性化を促進した。

(1) クリエイティブスタジオ シネマシリーズ4 映画へと導く映画

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。



期 日：令和3年9月23日（木・祝）

①上映1「タレントタイム～優しい歌」

開演12:00

②上映2「少女は自転車にのって」

開演14:35

③大九明子監督 特別講演

開始17:00

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

企画制作：小野朋子

出 演：大九明子（映画監督）

入場料：全席指定 前売 2,500円、当日 3,000円

入場者数：—

(2) クリエイティブスタジオ シネマシリーズ5 映画へと導く映画

映画監督 濱口竜介が影響を受けた映画「赤い河」「エストラパード街」の上映と、特別講演として上映作品の解説や自身の作品にもたらした影響などを語った。

期 日：令和3年11月23日（火・祝）

①上映1「赤い河」開演12:00

②上映2「エストラパード街」開演14:50

③濱口竜介監督 特別講演 開始17:15

会 場：クリエイティブスタジオ

市民交流プラザ事業部

主催事業



主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）
後 援：札幌市、札幌市教育委員会
助 成：ARTS for the future！
企画制作：小野朋子
出 演：濱口竜介（映画監督）
入場料：全席指定 前売 2,500円、当日 3,000円
入場者数：150人

（3）hitaru×SCARTS 連携事業 高嶺格「歓迎されざる者 ～北海道バージョン」

新規

社会の中で見えなくなっている様々な問題を、自身の個人的な体験や身体的感覚にひきつけ考えることで作品を生み出してきた美術家・演出家の高嶺格による展覧会を開催した。平成30年に京都にて発表された「歓迎されざる者」を、札幌でのリサーチや様々な人との対話を通してテーマを深め、北海道バージョンとして再構築。場内に大きな水盤を設置し、一般公募のオーディションによって選ばれた14名の出演者が詩や短歌など地域に根ざしたテキストを朗読した。

本事業は8月27日～9月5日の会期を予定していたが、緊急事態宣言の発令を受け、会期を短縮し実施した。



撮影：kenzo kosuge

期 日：令和3年8月27日（金）開演17:00
8月28日（土）、29日（日）開演11:00
会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
後 援：札幌市、札幌市教育委員会
助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）独立行政法人日本芸術文化振興会
協 力：札幌国際芸術祭実行委員会、さっぽろ天神山アートスタジオ、書肆吉成
作・演出：高嶺格
出 演：今井佳子、太田有香、小林なるみ、紺野香、佐々木順子、竹内理佳、田中雪葉、富田哲司、野澤璃華、藤野里香、堀慎太郎、牧野穂乃香、吉田ゆかり、脇田唯
入場料：無料
入場者数：348人

<配信事業>

hitaru×SCARTS 連携事業

高嶺格「歓迎されざる者～北海道バージョン」 アーカイブ配信

令和3年8月、クリエイティブスタジオで開催された展覧会 高嶺格「歓迎されざる者～北海道バージョン」の記録映像を期間限定で公開。作品内で朗読された38編の詩や短歌、テキストを全て収録し、会場の様子なども含め、本作の全体を捉えることができる映像をYouTubeにて配信した。

配信日時：令和3年11月26日（金）

～令和4年1月31日（月）

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）独立行政法人日本芸術文化振興会

視聴料金：無料

視聴数：1,392回

（4）藤田貴大「かがみ まど とびら」 **新規**

演劇作家 藤田貴大（マームとジプシー）による、子どもから大人まで一緒に楽しむ演劇作品を「めにみえない みみにしたい」（令和元年上演）に続き上演した。「かがみ（鏡）」「まど（窓）」「とびら（扉）」という、日常生活に欠かせない物、そして自分と何かを分ける“境界線”についての物語として、想像力を駆使した作品の世界を幅広い年齢層の方々にお楽しみいただいた。



「かがみ まど とびら」さいたま公演（令和2年11月）

撮影：細野晋司

期 日：令和3年8月10日（火）開演15:00
11日（水）開演11:30

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：公益財団法人北海道文化財団、札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

助 成：一般財団法人地域創造
文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）独立行政法人日本芸術文化振興会

制 作：公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団
合同会社マームとジブシー

作・演出：藤田貴大

出 演：伊野香織、川崎ゆり子、成田亜佑美、長谷川洋子

協力制作：ダブルス

入場料：全席自由 大人（19歳以上）2,000円
子ども（2歳以上）1,000円

入場者数：8月10日 93人

8月11日 79人

<関連事業>

藤田貴大「かがみ まど とびら」公演

関連企画『地図のワークショップ+α』**新規**

「かがみ まど とびら」の演出家 藤田貴大がワークショップ参加者から、今朝最初に話した人や会場に来るまでの道のりについて等、身近な出来事を聞き取り、その場面を参加者が再現。その再現を藤田が再構成し再現劇として発表することで、藤田がどのように演劇を捉えているかを体験した。

期 日：令和3年8月9日（月・祝）開始14:00

会 場：控室401（札幌市民交流プラザ4階）

講 師：藤田貴大

料 金：無料

参加者数：8人



(5) クリエイティブスタジオ

All Sapporo Professional Actors
Selection Vol.3「暴雪圏」 **新規**

直木賞作家、佐々木譲が北海道の厳冬期を描いた長編小説「暴雪圏」を斎藤歩（札幌座）の脚本・演出で上演した。



撮影：高橋克己

期 日：令和4年3月9日（水）～17日（木）

3月9日（水）①開演19:00

10日（木）②開演14:00、③開演19:00

11日（金）④開演19:00

12日（土）⑤開演14:00、⑥開演18:00

13日（日）⑦開演14:00

14日（月）⑧開演14:00、⑨開演19:00

15日（火）⑩開演19:00

16日（水）⑪開演14:00、⑫開演19:00

17日（木）⑬開演14:00

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：公益財団法人北海道演劇財団、札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）、NPO 法人札幌座くらぶ

則竹正人（札幌大谷大学客員教授）
 針生美智子（札幌大谷大学音楽学科准教授）
 鎌倉亮太（札幌大谷大学音楽学科准教授）

入場料：全席指定 500円

入場者数：191人

＜連携事業＞

札幌大谷大学・札幌文化芸術劇場 hitaru連携
 事業 アートプログラム2021 第3回
 バレエ「白鳥の湖」見どころ・聴きどころ

令和4年2月26日（土）、27日（日）に開催する
 hitaru バレエプロジェクト プレ公演「白鳥の湖」に
 先立ち、ロシア・バレエの歴史やチャイコフスキーの
 作曲活動にも触れながら、本作品の魅力をわかりやす
 く解説した。



期 日：令和3年12月10日（金）開始19:00
 会 場：クリエイティブスタジオ
 主 催：札幌大谷大学
 共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）
 出 演：千葉潤（札幌大谷大学学長・教授）
 入場料：全席指定 500円
 入場者数：131名

4 交流事業

札幌文化芸術劇場 hitaru、クリエイティブスタジオ、札幌文化芸術交流センター SCARTS、札幌市図書・情報館など、さまざまなジャンルの事業展開が可能な札幌市民交流プラザの特性を活かし、多様な市民に参加・交流の場を提供して、多くの市民が文化芸術に触れることで施設のにぎわい創出につながる事業を実施した。

① PLAZA FESTIVAL 2021
 Daiwa House® PRESENTS
 熊川哲也 Kバレエ カンパニー
 Autumn Tour 2021「シンデレラ」（再掲）

② PLAZA FESTIVAL 2021 札幌爆音映画祭
 音楽ライブ用音響機材を使用し、大胆かつ繊細な大音響で映画を体感することにより、これまででない体験を創造する上映イベントである爆音映画祭を実施した。3回目となる今回は開催期間を拡大し、SFやミュージカルといった人気分野に加え、現代中国の作品やコロナ禍での無観客ライブ、東日本大震災後の日本のすがたを問う作品など、いまを反映したプログラムを上映した。



期 日：令和3年10月1日（金）、2日（土）、3日（日）
 10月1日（金）①「メッセージ」 開演19:00
 10月2日（土）②「レ・ミゼラブル」 開演13:30
 ③「カネコアヤノ Zeppワンマンショー2021」 開演16:50
 10月3日（日）④「鵞鳥湖の夜」 開演13:30
 ⑤「典座-TENZO-」 開演16:10
 トーク登壇者 富田克也監督
 トーク開始17:15

会 場：クリエイティブスタジオ

市民交流プラザ事業部

主催事業

主催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後援：札幌市、札幌市教育委員会

助成金：ARTS for the future！

企画・制作：boid、小野朋子

入場料：全席指定 ①1,500円、②500円、③2,500円、④1,500円、⑤富田克也監督トーク付 1,500円

入場者数：①106人 ②138人 ③77人 ④67人 ⑤62人

③PLAZA FESTIVAL 2021

「MORIHICO. Marché de GRENIER（マルシェ・ドゥ・グルニエ）×プラザマルシェ」

新型コロナウイルスが猛威をふるう今年、「人と人との繋がりが希薄になりつつあり、オンラインで何でも買ってしまう時代にこそ、作り手との交流を大事にしたい。」との思いから、作家と来場者との心の距離を少しでも近づけるべく、コーヒブランド「MORIHICO.」がプロデュースするマルシェを開催した。



撮影：武石一俊

期日：令和3年10月1日（金）～3日（日）
11:00～19:00

※初日は12:00～、最終日は17:00まで

会場：SCARTS モールA・B

主催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

プロデュース：MORIHICO.

出店者：jobin.、HARUM、pluie、trois…、DECOP ACCHI、miho shimoozono、ancoco、Hanke Sandwich&Inn、チャットベーカリーおもや、にきや、工房はまなす、クワイアンウクレレ、こんの工作所、antitese、MEDO、MORIHICO.、オカモトヒデミ、aobato

入場料：無料

入場者数：800人

5 舞台技術向上への取組

舞台技術者の技術の向上や知識・経験の共有を図るため、舞台技術者を対象としたセミナーや会議を主催者・共催者として開催した。

また、他の劇場や芸術団体と連携・協力し、地元の文化芸術の水準を高めるための取組として、舞台監督等の技術協力支援を行った。

①第39回全国テレビ照明技術者会議 **新規** ※新型コロナウイルスの拡大により中止

当劇場及び市内道内の舞台技術スタッフの技術・知識の向上に貢献する目的で、全国から照明技術者が参加する本会議を共催者として支援した。

期日：令和3年10月6日（水）、7日（木）

10月6日（水）①展示機器見学・開場 13:30～

②オープニングセレモニー 13:50～

③基調講演 14:00～

④展示機器見学 16:15～

10月7日（木）⑤記念講演「スパイの妻」 10:15～

⑥エンディングセレモニー 11:45～

⑦展示機器見学 12:00～

⑧展示機器見学・閉会 13:00～

会場：クリエイティブスタジオ

主催：公益社団法人日本照明家協会

共催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後援：日本放送協会、一般社団法人日本民間放送連盟、全国舞台テレビ照明事業協同組合

②技術セミナー in hitaru

d&b Soundscape Presentation **新規**

市内の音響業者を対象に、ドイツの音響メーカー d&b 社の最新音響システム Soundscape の概要説明と、生ピアノと弦楽四重奏による生演奏試聴からなるセミナーを開催した。

期日：令和3年12月3日（金）

①13:30～14:30

②15:30～16:30～（①②は同内容）

会場：クリエイティブスタジオ

主催：ケイズサウンド株式会社

共催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

参加者：36名

③ 第2回札幌文化芸術劇場 hitaru
舞台技術セミナー「今までの安全」をもう
一度考えてみませんか～あなたの経験値、
あなたの日常作業、安全ですか？～

札幌及び北海道の中核劇場として、市内道内の舞台技術者の技能向上や知識・経験の共有を目的に広く参加を呼びかけ、「第2回 札幌文化芸術劇場 hitaru 舞台技術セミナー」を開催した。



期 日：令和4年3月10日（木）、11日（金）
3月10日（木）

- ①ゼミ1「実際に切る、抜く、壊す」14:00～16:00
- ②ゼミ2「Zoomを用いたWeb会議」16:20～17:30

3月11日（金）

- ③ゼミ3「実際に曲げる、吊られる」10:00～12:00
- ④ゼミ4「関係法令など」12:00～12:30
- ⑤自由参加 13:30～15:00

「見学と電動バトンについて」

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

講 師：伊藤久幸（札幌文化芸術劇場舞台技術部長）、
齋藤玲（札幌文化芸術劇場舞台技術係長）

料 金：無料

参加者：105名

④ 技術協力支援

高度な舞台機構や音響・照明設備を活用できる本劇場の舞台技術スタッフが他の劇場、音楽堂等及び実演芸術団体等と連携・協力し、地元の文化芸術の水準を高めるための取組として、舞台監督等の技術協力支援を行った。

(1) 札幌舞踊会 本部お楽しみ会☆支部・
カルチャー発表会

期 日：令和3年5月15日（土）、16日（日）

会 場：札幌市教育文化会館 大ホール

主 催：札幌舞踊会

(2) ちだとしこバレエスタジオ 第26発表会

期 日：令和3年6月4日（金）、5日（土）

会 場：札幌市教育文化会館 大ホール

主 催：ちだとしこバレエスタジオ

(3) DANCE STUDIO LoRe 発表会
「BON VOYAGE vol.3」

期 日：令和3年7月9日（金）、10日（土）

会 場：札幌サンプラザコンサートホール

主 催：ダンススタジオ LoRe

(4) 小林絹恵バレエスタジオ10周年記念公演
「眠れる森の美女」

期 日：令和3年8月17日（火）、18日（水）

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：小林絹恵バレエスタジオ

(5) 第15回アンジュバレエスタジオ
定期発表会

期 日：令和3年9月24日（金）、25日（土）

会 場：帯広市民文化ホール 大ホール

主 催：アンジュバレエスタジオ

(6) 小泉のり子バレエスタジオ発表会

期 日：令和3年10月9日（土）、10日（日）

会 場：札幌市民ホール

主 催：小泉のり子バレエスタジオ

(7) 2021北海道現代舞踊フェスティバル
in さっぽろ

期 日：令和3年11月23日（火・祝）

会 場：北海道立道民活動センター（かでの2・7）
かでのホール

主 催：一般社団法人現代舞踊協会北海道支部

(8) Farewell2021 くるみ割り人形

期 日：令和3年12月16日（木）～18日（土）

会 場：札幌市教育文化会館 大ホール

主 催：We Love Ballet 実行委員会

札幌文化芸術交流センターに関する事業

1 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業

誰もが気軽に文化芸術に触れられる場や機会を創出し、都心部ににぎわいを生み出すような事業を展開した。

また、地元アーティストやアート以外の他分野との連携などにより、札幌ならではの特徴的な事業を構築し、札幌の魅力を高めつつ、SCARTSの認知度も高めてきた。

①遠い誰か、ことのありか

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため会期短縮

人との直接的な接触を避け「会わずに会う」ことがかつてなく求められ、他者とのコミュニケーションについて再考を迫られている今日の状況を背景に、テクノロジーを批評的に扱う4名のアーティストの新作を通して、他者との関係性について考える展覧会となった。



撮影：リョウイチ・カワジリ

期 日：令和3年10月1日（金）～10日（日）
11:00～19:00

会 場：SCARTS コート・SCARTS スタジオ

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）、札幌市

後 援：札幌市教育委員会

協 力：渡邊淳司（NTT コミュニケーション科学基礎研究所）

助 成：令和3年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

作 家：クワクポリョウタ、やんツー、大橋鉄郎、岡碧幸

入場料：無料

入場者数：1,481名（コート795人、スタジオ686人）

<関連プログラム>

1. SCARTS×SIAF ラボ

アートエンジニアリングスクール

「Backstage Pass to SCARTS/ONLINE」

詳細 137P 参照

2. アーティストトーク

期 日：令和3年9月5日（日）14:00～16:30

会 場：オンライン配信 ①14:00～15:00

②15:30～16:30

出 演：①クワクポリョウタ、岡碧幸

②やんツー、大橋鉄郎

司 会：樋泉綾子（札幌文化芸術交流センター SCARTS キュレーター）

参加者数：53人

3. アーティスト×研究者トーク

期 日：令和3年9月11日（土）17:00～18:00

会 場：オンライン配信

出 演：クワクポリョウタ、渡邊淳司（NTT コミュニケーション科学基礎研究所）

司 会：樋泉綾子（札幌文化芸術交流センター SCARTS キュレーター）

参加者数：36人

4. キュレーターによるギャラリーツアー

「遠い誰か、ことのありか」/
++A&T 05「キョウドウ体/syn体」

期 日：令和3年10月3日（日）

①11:00～11:45、②15:00～15:45

会 場：SCARTS コート、SCARTS スタジオ、SCARTS モールC

案 内：樋泉綾子（札幌文化芸術交流センター SCARTS キュレーター）

参加者数：①10人 ②15人

5. SCARTS アートコミュニケーター 「ひらく」×SIAF 部の展覧会ガイド

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

期 日：会期中の土・日・祝日

会 場：SCARTS コート・SCARTS スタジオ

②SCARTS ステージシリーズ

音楽やダンス、演劇など札幌ゆかりの優れた表現者による多様な実演芸術との出会いの場を作り、市民が

札幌文化芸術交流センターに関する事業 1 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業

気軽に舞台芸術に親しむ機会を提供した。また、財団と連携協定を結ぶ大学の若手音楽家に発表の機会を提供することにより、次世代を担う人材育成に寄与するコンサートを実施した。

(1) SCARTS ステージシリーズ vol.005 ランチブレイクの “アフター” ランチブレイク

あらゆる音楽ジャンルを越境し、心地よいポップスを響かせる札幌在住5人組バンドによるコンサートを開催した。幅広い年代の市民、特に音楽に興味のある若い世代にアピールした。終演後はアフタートークを開催し、市民に作品の魅力をより親しみやすい形で解説した。



期 日：令和4年1月30日（日）開演14:00
会 場：SCARTS コート
主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
後 援：札幌市
助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）独立行政法人日本芸術文化振興会
出 演：ランチブレイク、服部亮太（トーク司会）
入場料：無料
入場者数：51人（事前予約制）（ほか、アーカイブ動画を2月28日から4月28日まで公開）

(2) SCARTS ステージシリーズ vol.006 大学連携コンサート 北海道教育大学 岩見沢校「東欧・弦の響き トリオと デュオによるロマン派～近代の作品を 集めて」

北海道教育大学岩見沢校で弦楽器を学ぶ学生により、2つのヴァイオリンとヴィオラによる三重奏曲をメインとしたコンサートを開催した。特に、市民にとって普段はあまり馴染みのない東欧の近現代作曲家を繰り

上げ、その作品の魅力をわかりやすく紹介するなど、美しく迫力のあるステージとなった。当初、管楽器によるステージを予定していたが、コロナウイルスの影響を鑑み、弦楽器演奏へ変更した。



期 日：令和3年8月18日（水）開演14:00
会 場：SCARTS コート
主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
後 援：札幌市
協 力：北海道教育大学岩見沢校 芸術・スポーツ文化学科 音楽専攻
出 演：太田楽（ヴァイオリン）、浅野李空（ヴァイオリン）、工藤綾乃（ヴィオラ）
入場料：無料
入場者数：57人（事前予約制）（ほか、アーカイブ動画を9月18日から11月18日まで公開）

(3) SCARTS ステージシリーズ vol.007 劇団千年王國「からだの贈りもの」

ベストセラー作家レベッカ・ブラウン原作、櫻井幸絵の構成・演出による劇団千年王國の演劇公演を開催した。末期エイズの患者たちにホームケア・メイドとして寄り添いながら、迫りくる死を意識する患者との交流を描いた作品は、コロナ禍の市民生活をも意識した演劇として成立した。終演後はアフタートークを開催し、市民に作品の魅力をより親しみやすい形で解説した。



市民交流プラザ事業部

主催事業

期 日：令和3年12月21日（火）開演18:00
会 場：SCARTS コート
出 演：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
後 援：札幌市
助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）独立行政法人日本芸術文化振興会
協 力：劇団千年王国
出 演：杉吉結、リンノスケ、櫻井ヒロ、大川敬介、三瓶竜大、佐藤亜紀子、嵯峨治彦、櫻井幸絵、桑原和彦（トーク司会、札幌文化芸術交流センター SCARTS）
入場料：無料
入場者数：71人（事前予約制）（ほか、アーカイブ動画を1月28日から3月28日まで公開）

（4）SCARTS ステージシリーズ vol.008 大学連携コンサート 札幌大谷大学「ラテン音楽の調べ」

スペイン・アンダルシア地方の舞踊曲やブラジルのナザレなどラテン音楽のコンサートを開催した。クラシックのジャンルの中では、ふだんあまり馴染みのないラテン音楽を、ピアノとヴァイオリンの演奏により、幅広い年代の市民にアピールした。



期 日：令和4年2月23日（水・祝）開演14:00
会 場：SCARTS コート
主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
後 援：札幌市
協 力：札幌大谷大学芸術学部 音楽学科
出 演：徳田和可（ヴァイオリン）、大野真希（ピアノ）
入場料：無料
入場者数：58人（事前予約制）（ほか、アーカイブ動画を3月24日から5月24日まで公開）

（5）SCARTS ステージシリーズ vol.009 平原慎太郎 ダンス 「よるね よるこい よる」

国内外で精力的な活動をおこなう平原慎太郎による新作ダンス公演を開催した。白い、雪の世界を模した舞台上に踊るダンサーの表現が、添い続けるために心中を余儀なくされていく男女の物語に収束された。終演後はアフタートークを開催し、市民にダンス作品の魅力をより親しみやすい形で解説した。



期 日：令和4年3月20日（日）開演14:00
会 場：SCARTS コート
主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
後 援：札幌市
助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）独立行政法人日本芸術文化振興会
出 演：平原慎太郎、嵯峨治彦（馬頭琴）、大森弥子、森嶋拓（トーク司会）
入場料：無料
入場者数：63人（事前予約制）（ほか、アーカイブ動画を4月20日から6月20日まで公開）

③hitaru×SCARTS 連携事業 高嶺格「歓迎されざる者～北海道バージョン」(再掲)

④++A&T SCARTS ART&TECHNOLOGY Project（プラプラットフォーム）

次世代の文化芸術の担い手である若い世代をターゲットに、アーティストや研究者とSCARTS、そしてワークショップに参加する札幌の中学生・高校生と共に創作する「場」をつくるプロジェクトとして、毎回テクノロジーに関わるテーマを設定し、実施している。令和3年度は2組のアーティスト（クワクボリョウタ、大和田俊）を招聘し、ワークショップとその成果を紹介する展覧会を開催した。

札幌文化芸術交流センターに関する事業
1 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業

(1) ++A&T04 CoSTEP×SCARTS×札幌
の高校生たち「バイオの大きさ／未来
の物語」ワークショップ成果展（再掲）

令和3年1月に実施したワークショップの成果を紹介する展覧会として実施。参加した高校生たちが研究者やアーティストとの交流を通して得た新たな視点から綴った環境の未来についての「物語」、それらをもとにアーティストの久野志乃が制作したドローイング、映像作家の北川陽稔によるドキュメント映像等を展示するとともに、創作の背景となった2人の研究者による知見を紹介した。

期 日：令和3年3月12日（金）～4月18日（日）
11:00～19:00

会 場：SCARTS モールC

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

協 力：北海道大学大学院農学研究院、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

参加アーティスト：久野志乃（アーティスト）、北川陽稔（ビジュアルアーティスト）

入場料：無料

入場者数：990人

(2) ++A&T05
クワクボリョウタ×SCARTS×札幌の
中高生たち「キョウドウ体／syn 体」
ワークショップ

クワクボリョウタ氏を講師に迎え、「リモート時代の存在感」をテーマに、チームで共同／協働し、ロボットアームを動かすワークショップを行った。初対面のメンバーと「キョウドウ」することで生まれた「syn 体」を通して、土地や時代に関わらず、全ての人間に関わるコミュニケーションの問題に、リモート時代ならではの切り口で迫った。



撮影：リョウイチ・カワジリ

期 日：令和3年7月24日（土）、25日（日）
10:00～17:00

会 場：SCARTS スタジオ

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

講 師：クワクボリョウタ

参加料：無料

参加者数：15人

(3) ++A&T05
クワクボリョウタ×SCARTS×札幌の
中高生たち「キョウドウ体／syn 体」
ワークショップ成果展

各チームがワークショップで生み出した「syn 体」を展示するとともに、「syn 体」をチームで動かすまでを記録した映像や参加者のコメントなどを通してワークショップの全貌を紹介した。



撮影：リョウイチ・カワジリ

期 日：令和3年10月1日（金）～10日（日）
11:00～19:00

※緊急事態宣言の発令に伴い会期短縮

会 場：SCARTS モールC

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）、札幌市

後 援：札幌市教育委員会

入場料：無料

入場者数：557人

<関連プログラム>

1. 「syn 体」再起動祭

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

期 日：令和3年9月12日（日）14:00～

会 場：SCARTS モールA・B

市民交流プラザ事業部

主催事業

(4) ++A&T06 大和田俊×SCARTS× CoSTEP×札幌の高校生たち 「地球をかたづける」ワークショップ

北海道大学高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター科学技術コミュニケーション教育研究部門(CoSTEP)との連携により実施。アーティストの大和田俊氏を迎え、2億7千万年前の地球に生きた生物の化石を使った同氏の作品《unearth》を取り上げ、リサイクルなどさまざまな知見にふれながら、作品を解体し、「かたづける」とは何かを考えるワークショップを開催した。



撮影：百頭たけし

- 期 日：令和3年11月6日(土)～7日(日)
10:00～17:00
- 会 場：SCARTS スタジオ
- 主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)
- 後 援：札幌市、札幌市教育委員会
- 講 師：大和田俊、石井一英(北海道大学工学研究院教授)
- 参加料：無料
- 参加者数：8人

(5) ++A&T06 大和田俊×SCARTS× CoSTEP×札幌の高校生たち「地球を かたづける」ワークショップ成果展

11月に行ったワークショップのプロセスや参加者のアイデアとともに、大和田氏と研究者の対話の記録などを展示し、大和田氏の作品《unearth》を起点に生まれた問いや関わった人それぞれの思考の広がりを紹介した。



撮影：百頭たけし

- 期 日：令和3年3月12日(金)
～令和4年4月10日(日) 11:00～19:00
- 会 場：SCARTS モールC
- 主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)
- 後 援：札幌市、札幌市教育委員会
- 入場料：無料
- 入場者数：860人(令和4年3月31日時点)

5 連携事業

(1) 第50回記念札幌文団協フェスティバル 展示部門

札幌市の芸術・文化の振興を目的に、札幌文化団体協議会との共催で、札幌を代表する作家の絵画や書、造形作品などの展示を開催した。またこどもアール・ブリュット作品展なども同時開催した。



- 期 日：令和3年8月20日(金)～8月22日(日)
- 会 場：SCARTS コート、SCARTS スタジオ、

札幌文化芸術交流センターに関する事業
1 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業

SCARTS モール A・B・C

主 催：札幌文化団体協議会

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

参加料：無料

参加者数：1,474人

（2）NoMaps2021

NoMaps は、札幌・北海道を舞台に、カンファレンス・展示・イベント・交流・実証実験を展開する、クリエイティブな発想と技術で次の社会・未来を作るためのコンベンションとして開催している。

札幌文化芸術交流センター SCARTS が持つ、企業と市民をつなげる役割、また、その会場の一つとして多様な事業を展開した。



期 日：令和3年10月13日（水）～17日（日）
11:00～21:00

会 場：SCARTS コート、SCARTS スタジオ、
SCARTS モール A・B

主 催：NoMaps 実行委員会

連 携：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

参加料：無料

参加者数：74人

（3）弦巻楽団×CoSTEP「オンリー・ユー」

一般社団法人 劇団弦巻楽団と北海道大学高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）がコラボレーションし、ヒト受精卵のゲノム編集をテーマに、討論劇を開催した。



期 日：令和3年11月10日（水）～11月11日（木）
10日19:00～、11日14:00～

会 場：SCARTS スタジオ

主 催：一般社団法人 劇団弦巻楽団、北海道大学 科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

企画原案：『二重らせんは未来をつむげるか？：討論劇で問うヒト受精卵へのゲノム編集の是非』（著：中角直毅・長倉美琴・種村剛、監修：石井哲也、2018年）

出 演：塚本奈緒美、井上嵩之（劇団・木製ボーイジャー14号）、佐藤みきと、赤川楓、佐久間泉真（弦巻楽団）

助 成：2019年度科学研究費助成事業「演劇を用いた科学技術コミュニケーション手法の開発と教育効果の評価に関する研究」（課題番号19K03105）2020年度公益財団法人日立財団倉田奨励金「演劇を用いた科学技術コミュニケーション手法の開発および参加者の先端科学技術の受容態度の変容に関する調査」（共に研究代表者 種村剛）

入場料：前売 2,000円、当日 2,500円

参加者数：85人

市民交流プラザ事業部

主催事業

(4) さっぽろアートステージ2021 「キッズアートフェス」

「子どもたちの創造性」をテーマに、4名のアーティストが登場。川上りえ、西田卓司はオンラインでのワークショップを通して子どもたちが制作した作品と、自身の作品を同じ空間に展示した。斎藤幹男は、オンラインのワークショップを通じて子供たちに制作してもらった絵を元にしたアニメーション作品を制作。武田浩志は家や庭をモチーフに制作した作品に、子供たちから事前に募集した絵画を貼り付け完成させた。子どもたちの作品と、アーティストの作品がコラボレーションするにぎやかな展覧会となった。



撮影：さっぽろアートステージ実行委員会

期 日：令和3年11月3日(水・祝)～11月23日(火・祝)
10:00～19:00 (最終日は17時まで)

会 場：SCARTSコート、SCARTSモールA・B

主 催：さっぽろアートステージ実行委員会

アーティスト：川上りえ、斎藤幹男、武田浩志、西田卓司、ワークショップに参加した子どもたち

参加料：無料

参加者数：2,224人 (コート861人、スタジオ1,363人)

<関連プログラム>

1. ワイヤーでアートしよう！

こどもワークショップ

期 日：令和3年10月16日(土)
午前の部10:00～、午後の部13:00～

講 師：川上りえ

参加者数：48人

2. こどもたちが考えたハンバーガーを 映像にするワークショップ 新しいハンバーガーを作ろう！

期 日：令和3年10月17日(日)
午前の部10:00～、午後の部13:00～

講 師：斎藤幹男

参加者数：28人

3. 家にあるいらなくなったプラスチックで つくる 箱庭ワークショップ

期 日：令和3年10月23日(土)
午前の部10:00～、午後の部13:00～

講 師：西田卓司

参加者数：14人

4. 理想のお家をアーティストと一緒につくろう！ お家や庭にほしいものの絵大募集！

期 日：令和3年9月27日(月)～10月27日(水)

会 場：SCARTSコート、SCARTSモールA・B

講 師：武田浩志

応募数：832

(5) アートボランティアウィーク @SCARTS

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

期 日：令和3年10月22日(金)～25日(月)
10:00～17:00

会 場：SCARTSコート、SCARTSモールA・B

主 催：さっぽろアートボランティアネットワーク
(V-net)

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)

参加料：無料

参加者数：-

(6) Marché de GRENIER (マルシェ・ドゥ・グルニエ)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

期 日：令和3年5月1日(土)～5日(水・祝)
5月1日(土) 12:00～19:00、
5月2日(日)～4日(火) 11:00～19:00、
5月5日(水・祝) 11:00～17:00

会 場：SCARTSモールA・B

主 催：MORIHICO.

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)

出店者：DECOPACCHI、和田硝子器店、ORITO、MORIHICO.、RIITO こだわ店、vaasä、イコロの森、工房ゆり介、trois…、pluie、しげばん、miho shimoozono、dotto・CANDLE、calme.、かくれ家、小樽百貨

札幌文化芸術交流センターに関する事業
1 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業

UNGA↑、Hanke -Sandwich & Inn-、
moco hands

参加料：無料

参加者数：—

(7) SCARTS×SIAF ラボ
アートエンジニアリングスクール

メディア・アーツ都市札幌におけるメディア芸術活動の発信の一翼を担い、メディアアートに関わる人材の育成と人的ネットワークの構築を目的に、メディアアートや現代アート作品の制作と展示に不可欠な技術やその役割について考え、学んでいくプロジェクト。令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大によるイベント自粛中でも実施できるオンラインプログラムを中心に展開。展覧会や作品制作現場の裏側／バックステージの見学や交流を通して理解を深める参加型プログラム「Backstage Pass」、第一線で活躍する専門家や実績者へのインタビュープログラム「Art Engineer File」の配信を実施した。



<Backstage Pass>

Backstage Pass to YCAM / ONLINE

期 日：令和3年4月4日（日）19:00～20:30

主 催：札幌国際芸術祭実行委員会、札幌市

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

案 内：岩田拓朗（SCARTS テクニカルディレクター）

講 師：会田大也（YCAM アーティストティック・ディレクター）、伊藤隆之（YCAM R&D ディレクター）

参加者数：18人

Backstage Pass to SCARTS / ONLINE

期 日：令和3年9月4日（土）19:00～20:00

主 催：札幌国際芸術祭実行委員会、札幌市

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

特別ゲスト：クワクボリョウタ、yang02、大橋鉄郎、岡碧幸（展覧会「遠い誰か、ことのありか」出展アーティスト）

参加者数：18人

Backstage Pass to NTT ICC / ONLINE

期 日：令和3年11月13日（土）19:00～20:00

主 催：札幌国際芸術祭実行委員会、札幌市

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

案 内：岩田拓朗（SCARTS テクニカルディレクター）

講 師：指吸保子（NTT インターコミュニケーション・センター（ICC）学芸員）、上田真平（ICC テクニカルスタッフ／エンジニア）、畠中実（ICC）主任学芸員

参加者数：15人

<Art Engineer File>

Art Engineer File #05 濱哲史

（令和3年4月4日公開）

Art Engineer File #06 クラレンス・ン

（令和3年4月28日公開）

Art Engineer File #07 イトウ ユウヤ

（令和3年9月17日公開）

Art Engineer File #08 中路景暁

（令和3年11月12日公開）

Art Engineer File #09 田中みゆき

（令和4年3月11日公開）

(8) 彫美連続講座2021（再掲）67P 参照

(9) 第8回 北から暮しの工芸祭

北海道で活躍するクラフト作家を中心に、家具や陶芸、木工や金工、ガラス、紙やアクセサリなどを出店した。

期 日：令和3年7月2日（金）～4日（日）

10:30～18:30 7月4日～16:00

会 場：SCARTS コート、SCARTS モール A・B

主 催：北から暮しの工芸祭開催委員会

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

市民交流プラザ事業部

主催事業

市芸術文化財団)

参加料：無料

参加者数：4,550人

出店者：大雪木工、匠工芸、メーベルトーカー、WHAT WE WANT、阿部木地工芸所、家具工房 伊庭善、木地のK-WOOD、good homemade、工房 灯のたね、ササキ工芸、高橋工芸、ドリーミーパーソン、Palemta、山田-ya、あとろえ MOON、antitese、上森米穀店、vue、SNN北海道センター、片山悟子、鞆いたがき、クラルテ、COQ、さくらの咲くところ／自然とつながるおやつ aimer／シゼントトモニキルコト、The St Monica、下村好子+中川町、sumomo zakka／アパレイユ、瀬戸晋、多田昌代、tomoni art、triecot、なかがわの森、ニューンペツガラス美術研究所、西村延恵 Kanata art shop、日日工房、pluie、po-to-bo、マツト和子・マナベハルミ & クスクスオープン、ミチヒト、megring、木工挽物・家具クドウテツト lampan、山田雅子 Kanata art shop、Yoshida Leather Works、Laugh sion、Lambent、Liaison

(10) さっぽろ天神山アートスタジオ クロストーク「パンデミックと アーティスト・イン・レジデンス」

札幌市のアーティスト・イン・レジデンス拠点である同スタジオにとって初となったオンライン・レジデンス、そしてアーティストの制作活動に関するさまざまなトピックスについて、キュレータをゲストに招きクロストークを行った。また、オンライン・レジデンスに参加するインドネシアのアーティストが、自身の活動について遠隔でプレゼンテーションを行った。



期 日：令和3年10月19日（火）19:00～20:30

会 場：SCARTS コート

登壇者：遠藤水城（キュレーター）、小田井真美（さっぽろ天神山アートスタジオ AIR ディレクター）

登壇者（オンライン）：姜 旻亨（カン・ミンヒョン / アートスペース Barim ディレクター）

プレゼンテーター：アリー・シャリフディン

司 会：漆崇博（一般社団法人 AIS プランニング）

主 催：さっぽろ天神山アートスタジオ、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

入場料：無料

入場者数：30人

(11) 北海道卒業設計合同講評会2022

北海道～全国で建築を学ぶ学生たちの卒業設計について、学校という枠を越えて、道内外の建築家から講評を受けることにより、より深く自分の設計した建築と向き合う機会を設け、学生同士が作品を通して刺激し合うことを目的として開催。パネル・模型の展示やプレゼンテーション、表彰式が行われた。

期 日：令和4年3月11日（金）～3月12日（土）

3月11日（金）10:00～20:00、

3月12日（土）10:00～12:30

講評会 13:00～

会 場：SCARTS モール A・B

審査員：五十嵐淳（五十嵐淳建築設計事務所）、平田晃久（平田晃久建築設計事務所）、吉村靖孝（吉村靖孝建築設計事務所）、高橋一平（高橋一平建築事務所）

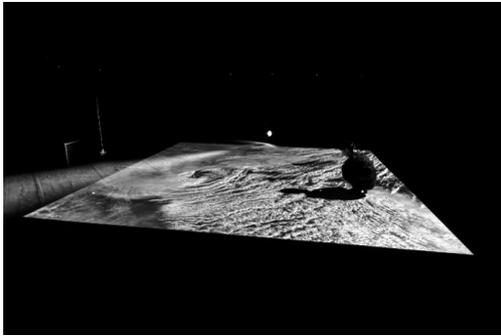
主 催：建築学生同盟 北海道組

入場料：無料（講評会：学生無料、一般 500円）

入場者数：214人

⑥SCARTS×SIAF ラボ 冬の展覧会2022 「都市と自然とデータとかたち」

札幌文化芸術交流センター SCARTS と SIAF ラボは、雪国・札幌の寒冷な気候や、除雪・排雪といった北国特有の都市機能を、情報テクノロジーや芸術の視点を交えて捉え直すことで、新たな冬の魅力や創造性を発見しようとする継続的な取り組みを行っている。2020年の冬に収集したデータを元に、SIAF ラボが独自に開発するソフトウェアや、さまざまな映像音響機器などを用いて、いくつかの実験的なプロトタイプ（試作品）を展示。札幌の都市と自然の在り方や、データという素材を用いたさまざまな造形、それらが生み出す新たな関係や存在を探求する展覧会を開催した。



撮影：門間友佑

期 日：令和4年2月5日（土）～20日（日）
10:00～19:00 休館日 2月9日（水）
会 場：SCARTS コート、SCARTS モール A・B
主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）、札幌国際芸術祭実行委員会、札幌市
協 力：札幌市雪対策室、札幌市図書・情報館
助 成：令和3年度 文化庁 文化資源活用推進事業
入場料：無料
入場者数：1,632人

<関連プログラム>

1. ギャラリーツアー

期 日：令和4年2月5日（土）15:00～16:00
会 場：SCARTS コート、SCARTS モール A・B
参加者数：15人

2. トークイベント「都市と自然と R&D」

期 日：令和4年2月13日（日）

会 場：SCARTS モール A・B

第一部「札幌の冬と新たな表現」

登壇者：明貫紘子（キュレーター、映像ワークショップ合同会社代表）、小町谷圭、平川紀道（SIAF ラボ）、岩田拓朗、樋泉綾子（札幌文化芸術交流センター SCARTS）

第二部「S.I.D.E（サイド）プロジェクト」

登壇者：中井悠（アーティスト、東京大学総合文化研究科准教授）、明貫紘子（キュレーター、映像ワークショップ合同会社代表）、朴炫貞（北海道大学 CoSTEP）、久保田晃弘、小町谷圭（SIAF ラボ）

参加者数：41人（オンライン62人）

⑦SCARTS インフォメーションカウンター

窓口にはスタッフが常駐し、市民交流プラザ及び市内他施設で行われる文化芸術イベントの周知や、市民交流プラザの施設利用に関する問い合わせ、文化芸術に関するイベントチラシの持ち込み等に対応した。

⑧文化芸術に関する情報発信

大通情報ステーションから提供される文化芸術に関する情報を元に、ウェブ内で「さっぽろ Art & Culture インフォメーション」を公開した。お気に入り登録や Google カレンダーに登録することで、自分好みのイベント情報を収集できる機能を持たせた。別ページの「SCARTS CROSS TALK」では、札幌にゆかりのあるアーティストや、文化に関わる活動をしている方をゲストに迎えて札幌文化芸術交流センタースタッフとの対談を公開した。

市民交流プラザ事業部

主催事業

⑨西2丁目地下歩道映像制作プロジェクト

さっぽろ地下街オーロラタウンと札幌市民交流プラザをつなぐ“西2丁目地下歩道”をスクリーンにした映像作品制作のプロジェクト。令和3年度からは、アピチャップン・ウィーラセタクンの『憧れの地 (The Longing Field)』を加えた4作品の上映がはじまった。



撮影：Kenzo Kosuge

期 日：令和3年4月1日（木）～

会 場：西2丁目地下歩行空間

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

上映作品：スタジオロッカ『UNDER UNIVERSE』（2019）
大木裕之『トシ シ』（2020）
野口里佳『虫・木の葉・鳥の声』（2020）
アピチャップン・ウィーラセタクン
『憧れの地 (The Longing Field)』（2021）

⑩PLAZA FESTIVAL 2021「MORIHICO. Marché de GRENIER（マルシェ・ドゥ・グルニエ）×プラザマルシェ」<再掲>

2 文化芸術活動支援事業

市民やアーティスト等の活動活性化やキャリアアップなどを念頭に、文化芸術情報を収集・発信できる場を提供するとともに、文化芸術に関する悩みなどの相談も受け付けた。

また、文化芸術に関わる方々を対象とした講座の開催や、アートと人々をつなぐボランティアな活動を支援するなどして、札幌で文化芸術活動が行いやすくなるような環境を整備した。

さらに、令和3年度からは、これまで札幌市において実施していた助成金交付事業を引き継いで、新たな制度としてスタートさせた。

①対面相談サービス

アーティストや文化芸術団体を支援し、市内の文化芸術活動の活性化や質の向上に資することを目的に、事前予約制で、アーティストや文化団体からの問い合わせ（活動場所、広報手段、助成金等）に対する情報提供やアドバイスをを行った。

利用件数：67件

②SCARTS レクチャーシリーズ

施設職員や文化事業の企画者に向けた実践的なレクチャー、アーティストとして必要な知識やスキルを学ぶ「レクチャーシリーズ for ARTIST」、毎回1冊の書籍を取り上げ、今日の社会と芸術との関わりを議論する「バトン」を、文化芸術活動に携わる人や関心のある人の学びの機会として年間を通じて実施した。

(1) SCARTS レクチャーシリーズ vol.6 「心に触れる広報術。」

SCARTS相談サービスとの連携企画として、相談の多い「広報」をテーマに、ラジオというリスナーとのやり取りが可能な双方向のメディアに携わり、様々な番組を手掛けてきたラジオプロデューサー・村田武之を講師に迎え、広報の基本である「関係性づくり」をベースに、広報活動において心がけるべきポイント等についてオンラインにてレクチャーを行った。

期 日：令和3年6月7日（月）18:30～20:00

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市

講 師：村田武之（株式会社文化放送 放送事業本部 編成局編成部 プロデューサー）



参加料：無料

視聴者数：72人（当日視聴者72人、アーカイブ配信再生178回）

(2) SCARTS レクチャーシリーズ バトナー創造性を刺激する、読書のためのトークセッション「20XX年の革命家になるには一スペキュラティブ・デザインの授業」

アーティストの長谷川愛をゲストに招き、その著書『20XX年の革命家になるには一スペキュラティブ・デザインの授業』を取り上げ、アートやデザインなどの創造活動が世界の変革をどう担えるのか、長谷川氏の作品を参照しながら議論を行ない、YouTubeで配信した。



期 日：令和3年9月19日（日）14:00～16:00

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

ナビゲーター：橋本努（北海道大学大学院経済学研究
院教授）

ゲスト：長谷川愛（アーティスト）

参加料：無料

視聴者数：58人

(3) SCARTS レクチャーシリーズ バトナー創造性を刺激する、読書のためのトークセッション「法のデザイン 創造性とイノベーションは法によって加速する」

法律家で弁護士の水野祐をゲストに招き、その著書『法のデザイン 創造性とイノベーションは法によって加速する』を取り上げ、社会の創造性を高めるための法律やルールの捉え方について議論を行なった。



期 日：令和3年10月30日（土）14:00～16:00

会 場：SCARTS スタジオ

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

ナビゲーター：橋本努（北海道大学大学院経済学研究
院教授）

ゲスト：水野祐（法律家、弁護士）

入場料：無料

入場者数：50人

(4) SCARTS レクチャーシリーズ バトナー創造性を刺激する、読書のためのトークセッション「炭鉱と美術 旧産炭地における美術活動の変遷」

アーティストの國盛麻衣佳をゲストに招き、その著書『炭鉱と美術 旧産炭地における美術活動の変遷』を取り上げ、産炭地における創造活動を紹介しながら、文化芸術と社会の関係を議論した。



市民交流プラザ事業部

主催事業

期 日：令和4年1月22日（土）14:00～16:00
会 場：SCARTS スタジオ
主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
ナビゲーター：橋本努（北海道大学大学院経済学研究
院教授）
ゲスト：國盛麻衣佳（アーティスト）
入場料：無料
入場者数：45人

（5）SCARTS レクチャーシリーズ for ARTIST vol.4

「確定申告や助成金について知りたい！ アーティストのためのお金の知識」

アーティストを対象に、多彩な講師からアーティストとして生きていくために必要な知識や、作品の制作や展示に役立つ実践的なスキルを学ぶシリーズ。vol.4では、東京でギャラリー KKAG（Kiyoyuki Kuwabara Accounting Gallery）を運営する税理士・公認会計士の桑原清幸から、お金に関する知識を学ぶ講座を行った。

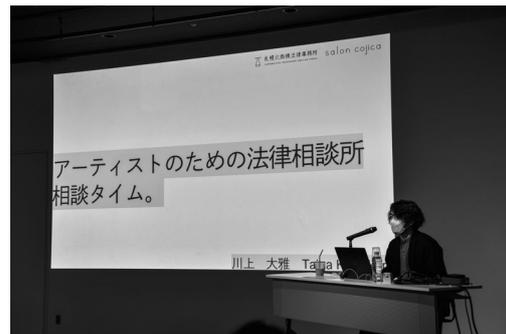


期 日：令和4年1月29日（土）14:00～16:30
会 場：SCARTS スタジオ
講 師：桑原清幸（税理士、公認会計士、ギャラリー
KKAG ディレクター）
主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市
芸術文化財団）
協 力：札幌市図書・情報館、なえぼのアートスタジオ
入場料：無料
入場者数：32人（ほか、記録動画を2022年2月22日から
4月30日までオンラインで限定公開）

（6）SCARTS レクチャーシリーズ for ARTIST vol.5

「作品と制作者の権利を守りたい！ アーティストのための法律相談所」

同じく vol.5では、札幌のギャラリー「salon cojica」を運営する弁護士・弁理士の川上大雅氏から、アーティストやクリエイターが活動を続けていくために必要な、法律に関する知識を学ぶ講座を行った。



期 日：令和4年3月5日（土）14:00～16:30
会 場：SCARTS スタジオ
講 師：川上大雅（弁護士、弁理士、ギャラリー
salon cojica ディレクター）
主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市
芸術文化財団）
協 力：札幌市図書・情報館、なえぼのアートスタジオ
入場料：無料
入場者数：30人（後日、レポートをオンラインで公開）

③アートコミュニケーション事業

札幌市民交流プラザを拠点に、アーティストや文化芸術に関わる専門家、SCARTSのスタッフとともに「市民とアートのつなぎ手」としてボランティアな活動を展開するSCARTSアートコミュニケーターに対する講座を行うとともに、実践活動や読書会、勉強会など自主的な活動に取り組んだ。

（1）講座

1. 3期生オリエンテーション

期 日：令和3年4月17日（土）10:00～15:00
会 場：SCARTS スタジオ
参加者数：17人（うち2人はオンライン参加）

2. 1・2期生オリエンテーション

期 日：令和3年4月24日（土）10:00～15:00
会 場：SCARTS ミーティングルーム
参加者数：24人（うち11人はオンライン参加）

3. 「きく力」とアートコミュニケーション

期 日：令和3年5月22日（土）10:00～15:00

会 場：オンライン

講 師：伊藤達矢

参加者数：15人（オンライン参加）

4. グッドミーティング

期 日：令和3年6月5日（土）10:00～15:00

会 場：オンライン

講 師：青木将幸

参加者数：18人（オンライン参加）

5. 卒業制作会議①

期 日：令和3年7月3日（土）10:00～15:00

会 場：控室402

参加者数：15人（うちオンライン参加7人）

6. インタビューの作り方 [概要編]

期 日：令和3年7月10日（土）10:00～15:00

会 場：控室402

講 師：福住廉（美術評論家）

参加者数：21人（うちオンライン参加9人）

7. 仲間を知ろう

期 日：令和3年7月17日（土）10:00～15:00

会 場：SCARTS スタジオ

講 師：納谷真大（ELEVEN NINES/劇作家・俳優）

参加者数：24人（うちオンライン参加1人）

8. 「アイデアの種」の探し方と育て方

期 日：令和3年8月7日（土）10:00～15:00

会 場：SCARTS スタジオ

講 師：伊藤達矢

参加者数：15人

9. 展覧会って何だろう

期 日：令和3年8月21日（土）10:00～15:00

会 場：オンライン

講 師：樋泉綾子（札幌文化芸術交流センター
SCARTS キュレーター）

参加者数：18人

10. 作品を鑑賞するとは

期 日：令和3年9月18日（土）10:00～15:00

会 場：オンライン

講 師：山崎正明（北翔大学教育文化学部教授）

参加者数：16人

11. 卒業制作会議②

期 日：令和3年9月24日（金）10:00～15:00

会 場：オンライン

参加者数：8人

12. 対話による鑑賞の手法により、作品鑑賞を深めよう

期 日：令和3年10月2日（土）13:00～16:00

会 場：モールC

講 師：山崎正明（北翔大学教育学部教授）

参加者数：16人

13. 作品をみて言葉にしよう [概要編]

期 日：令和3年10月16日（土）10:00～15:00

会 場：中練習室

講 師：福住廉（美術評論家）

参加者数：10人（うちオンライン参加1人）

14. インタビューの作り方 [実践編]

期 日：令和3年10月17日（日）10:00～15:00

会 場：中練習室

講 師：福住廉（美術評論家）

参加者数：11人

15. 卒業制作会議③

期 日：令和3年11月13日（土）10:00～15:00

会 場：控室405・406

参加者数：12人

16. 作品を見て言葉にしよう [実践編]

期 日：令和3年11月27日（土）10:00～15:00

会 場：控室405・406

講 師：福住廉（美術評論家）

参加者数：9人

17. 卒業制作会議④

期 日：令和4年1月8日（土）10:00～15:00

会 場：SCARTS ミーティングルーム

参加者数：8人

市民交流プラザ事業部

主催事業

18. アートコミュニケーター1期生卒業式

期 日：令和4年3月26日（土）14:00～16:00

会 場：SCARTS ミーティングルーム

参加者数：25人（うち1名オンライン参加）

（2）実践活動

1. 「遠い誰か、ことのあるか」鑑賞サポート

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

期 日：令和3年10月2日（土）

11:00～12:00、13:30～14:30

会 場：SCARTS コート、SCARTS スタジオ

参加者数：－

2. SCARTSアートコミュニケーター

「ひらく」1期生卒業（仮）展

2018年8月に結成して以来、チームで活動を続けてきたSCARTSアートコミュニケーター「ひらく」の1期生が3月で卒業するにあたり、「ひらく」の3年半に及ぶ活動を紹介するとともに、1期生が企画したワークショップや、活動に関わりの深いゲストを招いたトークイベントを開催した。また、出張プログラムとして札幌芸術の森美術館での鑑賞プログラムを実施した。



期 日：令和4年2月26日（土）～28日（月）

10:00～19:00

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

会 場：SCARTS スタジオ

入場料：無料

参加者数：133人

<会場でのプログラム>

1. ワークショップ「コトバで紡ぐ音楽」

期 日：令和4年2月26日（土）14:00～16:00

会 場：SCARTS スタジオ

参加者数：13人

2. ワークショップ

『凹みスタディ』のスタディ

期 日：令和4年2月27日（日）13:30～15:00

会 場：SCARTS スタジオ

参加者数：8人

3. ひらくラジオ

「勝手に始める“批評”のススメ」

期 日：令和4年2月26日（土）17:00～18:00

会 場：SCARTS スタジオ、オンライン配信

話し手：福住廉（美術評論家）、齋藤雅之（札幌文化芸術交流センター SCARTS）

参加者数：14人（オンライン40人）

4. ひらくラジオ「見る、考える、話す、聴く～対話による鑑賞のススメ～」

期 日：令和4年2月27日（日）15:30～16:30

会 場：SCARTS スタジオ、オンライン配信

話し手：山崎正明（北翔大学教育文化学部 教授）、樋泉綾子（札幌文化芸術交流センター SCARTS キュレーター）、齋藤雅之（札幌文化芸術交流センター SCARTS）

参加者数：12人（オンライン31人）

5. ひらくラジオ「ぶっちゃけ、アートコミュニケーションってなに？」

期 日：令和4年2月27日（日）17:00～19:00

会 場：SCARTS スタジオ、オンライン配信

話し手：伊藤達矢（東京藝術大学 社会連携センター 特任准教授）、ひらくメンバー、齋藤雅之（札幌文化芸術交流センター SCARTS）

参加者数：13人（オンライン31人）

<出張プログラム>

1. 札幌芸術の森美術館

「きみのみかた みんなのみかた」展 鑑賞プログラム「あなたのみかた」

期 日：令和4年1月22日（土）～3月13日（日）

9:45～17:00

会 場：札幌芸術の森美術館 エントランスロビー

参加者数：264人

2. 札幌芸術の森美術館

「きみのみかた みんなのみかた」展
鑑賞プログラム「きみのかたち みんな
のかたち～みんなで作ってみたい～」

期 日：令和4年2月23日（水・祝）11:00～15:00

会 場：札幌芸術の森美術館 展示室前通路・中庭

参加者数：20人

3. 札幌芸術の森美術館

「きみのみかた みんなのみかた」展
鑑賞プログラム「ひらくみかたツアー」

期 日：令和4年2月23日（水・祝）9:45～17:00

会 場：札幌芸術の森美術館 展示室

参加者数：23人

（3）鑑賞レポート

SCARTSアートコミュニケーターがそれぞれに鑑賞した展覧会やコンサート、映画、演劇などについてレポートを執筆し、ウェブ上の「鑑賞レポート」で公開した。

期 日：通年

④公募企画事業

（1）CE:Meets ライブクラフト

～ダンボールハウスバトル～

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

期 日：令和3年6月12日（土）～14日（月）

公開制作：6月12日（土）～13日（日）

10:00～18:00

展 示：6月12日（土）～14日（月）

10:00～18:00

会 場：SCARTS スタジオ、SCARTS モールC

主 催：ドラマチッククリエイション&エンターテイメント企画×フリークリエイティブ機構 Peek-a-Boo!、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

入場料：無料

入場者数：－

（2）三原順の世界展～生涯と復活の軌跡～

札幌で生まれ描き続けたマンガ家三原順の没後25年に合わせた、北海道初となる原画展。三原の子どもの頃の絵や作文などを含む約150点を展示し、その生涯と作品の変遷を紹介した。



期 日：令和3年7月22日（木・祝）～8月15日（日）
10:00～19:00

7月28日（水）・8月12日（木）休館

会 場：SCARTS コート

主 催：ムーンライティング、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

協 力：鈴木俊裕、井波彰子、白泉社、明治大学 米沢嘉博記念図書館、劇団スタジオライブ、ヤマダトモコ、赤木国香

後 援：北海道新聞社

入場料：無料

入場者数：2,770人

<関連プログラム>

1. トークイベント

「三原順のことばを考える」

期 日：令和3年7月31日（土）～8月15日（日）

会 場：オンライン配信

出 演：瀧波ユカリ（マンガ家）、三角みづ紀（詩人）

視聴者数：1,328人

2. トークイベント「順さまのワイワイ仕事場（あるいはシュラバ）」

期 日：令和3年7月31日（土）16:00～18:30

会 場：オンライン配信

出 演：笹生那実（マンガ家）、楡崎玲奈（元アシスタント）

参加者数：43人（オンライン453人）

市民交流プラザ事業部

主催事業

3. トークイベント

「北海道にマンガミュージアムを！」

期 日：令和3年8月1日（日）14:00～16:00
会 場：SCARTS スタジオ、オンライン配信
出 演：ヤマダトモコ（マンガ研究者、明治大学 米沢嘉博記念図書館）表智之（北九州市漫画ミュージアム専門研究員）
参加者数：28人（オンライン200人）

（3）艾沢詳子+青木広宙-PLATFORM

艾沢詳子氏が、人の一生をテーマとして、紙をワックスで固めたヒト型のオブジェを無数に配置するインスタレーションを展開。三次元画像計測を専門分野とする公立千歳科学技術大学准教授の青木広宙工学博士が手掛ける光システムとのコラボレーションにより、非接触型装置で計測された来場者の呼吸や歩行に合わせて照明が変化するなど、アートとテクノロジーを融合した表現が行われた。



撮影：大橋英児

期 日：令和4年1月8日（土）～23日（日）
11:00～19:00
会 場：SCARTS コート
主 催：艾沢詳子+青木広宙 -PLATFORM 実行委員会（アルス？テクネー展覧会実行委員会：艾沢詳子、青木広宙、藤沢レオ、中坪淳彦、細矢久人）、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
後 援：公立千歳科学技術大学
協 賛：伊藤組100年記念基金
入場料：無料
入場者数：856人

<関連プログラム>

1. トークセッション「プラットフォーム上に“たゆたう”オリジナリティ」

期 日：令和4年1月23日（日）14:00～15:30
会 場：SCARTS スタジオ
講 師：迎山和司（公立ほこだて未来大学教授）× 艾沢詳子×青木広宙
参加者数：11人（オンライン19人）

（4）ONE～ひとりの女性～

さまざまなジャンルの仲間と共にアートを盛り上げようと作ったグループ、PLUSONE（プラスワン）が主催する展覧会。札幌で働く女性、子育てをする女性、将来のために勉強する女子学生、時代とともに大きく変化する女性の生き方をテーマに、美に対する意識や愛嬌を忘れない女性の感情、美しさを表現した複数の作品を展示した。



撮影：前田諒、辻野里英

期 日：令和4年3月9日（水）～16日（水）
11:00～19:00
会 場：SCARTS コート
主 催：PLUSONE、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
入場料：無料
入場者数：633人

<関連プログラム>

1. アーティストトークショー

期 日：令和3年3月12日（土）13:00～14:00
会 場：SCARTS コート
参加者数：20人（オンライン18人）

⑤札幌文化芸術交流センター SCARTS 文化芸術振興助成金交付事業

札幌市の文化芸術振興に賛同する方々からいただいた寄付を基に創設された「文化芸術振興基金」の運用

益を活用し、札幌市を拠点に文化芸術活動を行う団体又は個人による、優れた活動に対してその費用の一部を助成し、札幌市における文化芸術振興やさらなる発展につなげることを目的として実施した。

新たな創造活動の可能性を切り拓く、独創性及び革新性に優れた文化芸術活動などを対象とした「特別助成事業」と、地域における実演芸術の発表や展覧会など多様な文化芸術活動などを対象とした「一般助成事業」の2つの区分で募集を行い、令和3年度については、申請があった事業の審査から採択までを実施した。

期 日：令和3年12月1日（水）～令和4年1月11日（火）（申請書受付）

申請件数：特別助成事業17件、一般助成事業39件

採択件数：特別助成事業2件、一般助成事業14件

〈令和4年度 文化芸術振興助成金交付事業 助成対象事業一覧〉

特別助成事業

- ・祈りの北方圏～サンドアート・ダンス・音楽～（北方諸民族文化交流実行委員会）
- ・なえぼなーと/NAEBONART 2022（特定非営利活動法人S-AIR）

一般助成事業

- ・Asian Film Jointーアジアの先鋭作家特集上映ー札幌大会（小野朋子）
- ・HDP DANCE PREMIUM 2022（一般社団法人北海道ダンスプロジェクト）
- ・クリスマスのふしぎなほこ（根深夏）
- ・札幌学生対校演劇祭（札幌学生対校演劇祭実行委員会）
- ・（仮称）札幌の木、北海道の椅子展'22（Sapporo Association of Woodworkers（SAW））
- ・SAPPORO 風呂敷フェスティバル・風呂敷講演会&風呂敷講座（一般社団法人日本風呂敷文化協会）
- ・札幌洋舞連盟 第62回子ども舞踊祭（札幌洋舞連盟）
- ・第43回市民バンドフェスティバル in Sapporo（札幌市民バンド連絡協議会）
- ・中世古楽演奏会 聖と俗の音の旅Ⅲ（中村会子）
- ・トランク機械シアターの人形劇詰め合わせ（トランク機械シアター）
- ・はばたけ！北海道イラスト大賞展（北海道イラストレーターズクラブアルファ）
- ・びょういんあーとぶろじゅくと（びょういんあーとぶろじゅくと）
- ・森を巡る物語「うつろうもの」（白鳥絵美）
- ・ラボチプロデュース のと☆えれき二人芝居第三弾（ラボチ）

③ 文化芸術に関する調査研究事業

文化芸術活動を発展させるうえで欠かせない、国や他都市の動向や先進的な文化芸術活動などに関する基礎的な調査や研究を行った。また、SCARTSにおいて実施してきた事業を中心とした、これまでの取組に関するデータや記録などを、活用しやすい形で整理・保存した。

① 調査研究

令和元年度および2年度に実施した「アーカイブ」に関する各種調査の成果を可視化することを目的とし、SCARTSが文化芸術のハブとなり、様々な発信を行う機能を有する施設であることを踏まえ、札幌文化芸術劇場 hitaru や札幌市図書・情報館との連携を図り、札幌文化芸術劇場 hitaru、札幌文化芸術交流センター SCARTS の開館からの歩みをアーカイブ資料の一つである主催事業フライヤーによって振り返る展示とオンライントークを開催した。さらに、コロナ禍における文化芸術を取り巻く環境の変化を踏まえ、動画配信における著作権に関するレクチャーをオンラインプログラムとして実施した。

（1）つむぐーフライヤーでふりかえる hitaru と SCARTS の3年間

2021年10月、開館から3年を迎えた札幌文化芸術劇場 hitaru、札幌文化芸術交流センター SCARTS の主催事業を振り返る機会として、事業の広報ツールでありアーカイブ資料の一つであるフライヤーを用いたアーカイブ展を西2丁目地下歩道空間にて行った。

また、関連プログラムとして、昨今の文化芸術を取り巻く環境における変化のひとつである動画配信による文化芸術鑑賞の機会の広がりを背景に、知っておくべきライブ配信やアーカイブ配信に関する法律について専門家とともに考えるオンラインレクチャーに加え、プラザ職員4名が3年間の歩みを振り返りながら、アーカイブについて考えるディスカッションに関するオンラインも実施した。

期 日：令和3年9月24日（金）～12月26日（日）

会 場：西2丁目地下歩道壁面

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

協 力：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）、札幌市図書・情報館

市民交流プラザ事業部

主催事業



入場料：無料

入場者数：20,196人

<関連プログラム>

1. トークイベント「ライブ配信・アーカイブ配信のための著作権セミナー」

期 日：令和3年10月1日（金）～15日（金）

出 演：安藤和宏（東洋大学法学部教授）、杉浦幹男
（アーツカウンシル新潟プログラムディレクター/モデレーター）

視聴者数：53人

2. トークイベント「「つむぐーフライヤーでふりかえる hitaru と SCARTS の3年間」を通して考えるアーカイブ」



期 日：令和3年12月10日（金）～26日（日）

出 演：高橋秀典（札幌文化芸術劇場 hitaru チーフプロデューサー）、樋泉綾子（札幌文化芸術交流センター SCARTS キュレーター）、岩田拓朗（札幌文化芸術交流センター SCARTS テクニカルディレクター）、浅野隆夫（札幌市中央図書館利用サービス課長）、福津京子（インタビュアー/モデレーター）

視聴者数：188人

②SCARTS レポート

SCARTSの年間の活動を記録し、広く公開することにより、SCARTSの活動を周知し、市民の施設利用ニーズ、相談ニーズの掘り起こしにつなげることを目的に記録集を発行する。活動記録にとどまらず、SCARTSで行った講座やトークイベントの記録等を掲載し、市内のアーティストや文化団体等の活動に役立つものとする。令和3年度は、令和2年度の活動記録集を製作した。

広報・利用促進に関する事業

1 広報

①事業広報との連携強化

公演・イベントの周知、チケット販売促進や、施設入館者数の目標達成を目指し、情報誌等の印刷物やホームページ、SNS等の多様な媒体を活用して、札幌市民交流プラザの機能や事業の広報を積極的に行った。

(1) 地下鉄パンフレット広告

主要駅の地下鉄フリーパンフレットコーナーにて、情報誌「WAVE TIMES」や「PLAS」を配架した。

(2) 協賛広告枠の活用

札幌文化芸術劇場 hitaru オフィシャルスポンサー企業の広告協賛等を活用し、地下鉄大通駅コンコース及び地下街オーロラタウン、丘珠空港、市内大型スーパーマーケット、路線バス車内等において動画の放映やポスター広告の掲示等を行った。

②広報印刷物の制作

(1) 情報誌「WAVE TIMES」

札幌市民交流プラザの情報誌「WAVE TIMES」を4回（5月、8月、11月、2月）発行し、区役所等の市内公共施設や関係団体へ送付したほか、公演・イベント会場等でも広く配布した。

(2) イベントスケジュール冊子「PLAS」

札幌市民交流プラザを構成する3施設の公演・イベントを掲載するスケジュール冊子「PLAS」を6回（5月、7月、9月、11月、1月、3月の各月20日頃）発行し、区役所等の市内公共施設や関係団体へ配布した。

(3) 「創成おさんぼMAP」

近隣地域のにぎわいを醸成するため、メンバーズ会員向け特典提供店を紹介する地図形式の冊子をB3判ジャバラ折B6仕上げで作成し、メンバーズ（DM会員）に送付したほか、協力店舗やプラザ館内各所で配架した。また、利用促進のため、SNSを活用した「#おさんぼMAPキャンペーン」を実施した。

③ホームページ・SNSの活用

ホームページを通じて、主催事業や貸館公演などのイベント情報を随時発信し、広く札幌市民交流プラザの周知を図るとともに、英語ページも作成し、外国人向けに情報発信を行った。

また、Twitter、Facebook、InstagramといったSNSも活用し、即時性のある情報を発信。ウェブアクセシビリティへの対応にも留意し、JISX8341-3:2016の適合レベルAA準拠を維持した。

2021年度公式ホームページアクセス数：1,468,110件

2021年度札幌市民交流プラザメンバーズホームページアクセス数：271,146件

2 利用促進

①施設利用に関する営業

劇場及びセンター諸室の貸館利用促進に向け、地元興行主との情報交換を密にするほか、「ご存じですか？プラザの貸室いろいろ」を配布して会議や練習での利用を促した。

②会員制度の運営

主催公演のチケット先行発売や公演情報の提供などを特典とする会員制度「札幌市民交流プラザメンバーズ」を運営し、2022年3月末までにWEB会員38,674人、DM会員734人、計39,408人の会員を集めた。

会員向けサービスとしては、以下のものを実施した。

- ・メールマガジン配信（WEB会員向け。原則1ヶ月に2回）
- ・ダイレクトメール送付（DM会員向け。原則奇数月）
- ・hitaru主催公演のチケット先行発売
- ・プラザ内カフェ・レストランでの優待
- ・近隣のホテル・飲食店等での各種優待
- ・リハーサル見学（令和3年10月2日（土）「Kバレエカンパニー『シンデレラ』」の実施

※施設見学会および避難訓練コンサートについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため不開催

③協賛制度の運営

札幌文化芸術劇場 hitaru の主催共催事業の充実を目的とする「hitaru オフィシャルスポンサー」制度を運営。

2021年度のスポンサーとして、法人98社、個人46人、計144件（現金協賛9,187万円、広告協賛3,030万円相当）の協賛を獲得した。

④クリエイティブスタジオ見学会

札幌市民交流プラザの施設について興味関心を喚起し、多くの方に利用していただくことを目的として、クリエイティブスタジオ及び控室を開放し、備付備品の紹介や、舞台技術者と利用内容について直接相談できる場を提供するクリエイティブスタジオ見学会を実施した。

期 日：令和3年7月21日（水）

令和4年1月10日（月・祝）、11日（火）

会 場：クリエイティブスタジオ、控室303（7/21のみ）、控室301（1/10、11のみ）

参加費：無料

総入場者数：89人